



二十四孝



虞舜 孝感動天

漢文帝 親嘗湯藥

曾參 嚙指痛心

閔損 單衣順母

仲由 爲親負米

董永 賣身葬父

剡子 鹿乳奉親

江革 行傭供母

陸績 懷橘遺母

唐夫人 乳姑不怠

吳猛 恣蚊飽血

朱壽昌 棄官尋母

王祥 臥冰求鯉

郭巨 爲母埋兒

楊香 搯虎救父

庾黔婁 嘗糞冀憂心

黃香 扇枕溫衾

姜詩 湧泉躍鯉

老萊子 戲綵娛親

蔡順 拾椹供親

王裒 聞雷泣墓

丁蘭 刻木祀親

子孟宗 泣竹生笋

黃庭堅 滌親溺器

虞舜 孝感動天

有虞氏帝舜姓ハ姚名ハ重華黃帝の後ヲう。父を瞽瞍といふ。幼して母ヲ喪ひ冷ひ。父後母と娶く。弟象と生む。父頑。母嚚。象傲き。父後母と象と迷ひて。志をく。舜殺さんと欲せしむ。よしのや。さびのづねく。いつく孝行を尽し。死す。いさぐ。童く。ハセ。時。歷山といふ所。農作し。終つ。人皆畔て。己が田れ界と譲く。年をん。或ハ大冢ありて。鼻。以て田こ。一。諸鳥く。草。ひ。其。た。何と。なり。な。れ。ま。と。孝徳の感應甚く。多し。時。帝。堯。舜。れ。聖徳を。こ。ろ。一。免。と。す。沛。子。ハ。人。ま。り。一。十。七。と。も。万民の。為。御。位。を。ゆ。け。り。て。娥。皇。女。英。と。い。ふ。む。ら。め。成。后。妃。と。立。給。ひ。く。但。一。沛。歳。二十九。と。く。登。庸。ら。せ。六。十二。と。て。御。位。に。即。在。位。四。十。八。年。御。壽。百。十。歳。と。て。崩。し。終。了。



漢文帝 親嘗湯藥

漢の文帝諱ハ恒高祖れ中子。沛母を薄太后とす。代王を封せしむ。惠帝崩じて子なり。呂后崩じて後諸大臣むして天子とあふぎをまゐる。沛母ははるる沛孝行あり。帝其間衣冠を解給る。晝夜御目まどる。及ぶ。帝其間衣冠を解給る。晝夜御目まどる。睡を日とせしむ。沛看病まじく。沛茶又ハ朝夕に供沛を。沛より嘗てる。沛ははるる。天子はたつと沛身して。かく沛看病せしむ。其平日の沛孝行おほく。さきかくあり。がは沛孝徳を内よをさめ。外仁政を天下に施し。給し。めでこと沛世を志す。めす事。い。これ堯舜と等く稱し。なり。り。



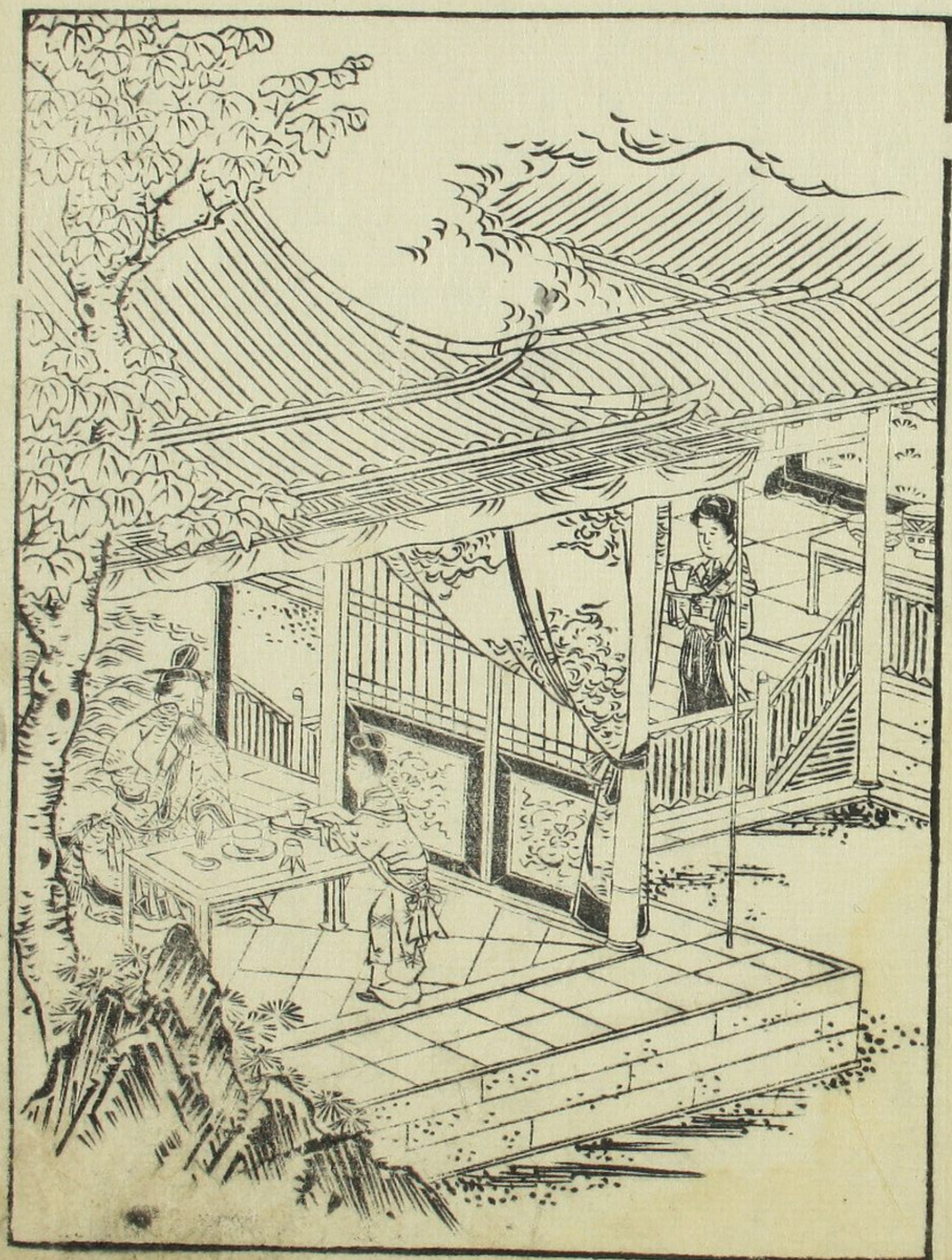
閔損 單衣順母

閔損字ハ子騫ハ孔子ハ弟弟子。十哲の一人として孝なる哉。
 と。孔子のはめさせ給う人なり。幼して母におもひたす。後母
 二人の子ありて己が子とせしむ。閔損を悪て冬の寒く、芦乃
 穂を給うて居せしむ。いとも恨とせしむ。孝敬は及ぶと
 せしむ。或曰父他へ行。閔損は御して車の上より傷て馬を
 御事と令し。肌寒てはしむ。事あるにや。衣
 着く芦の穂を給うて居せしむ。大に怒り。継母を去るといふ。
 閔損父をいさめて言々。母もや。我一人守りて二子ハ温よ。
 母もいさめられ。二子ハ孝行する。そのなきて。之より。孝
 かん。と。さめられ。父も其理を成す。母も愧悔て。二子ハひ
 とく。孝行する。是至孝れ人を感ぜしむ。不たる。



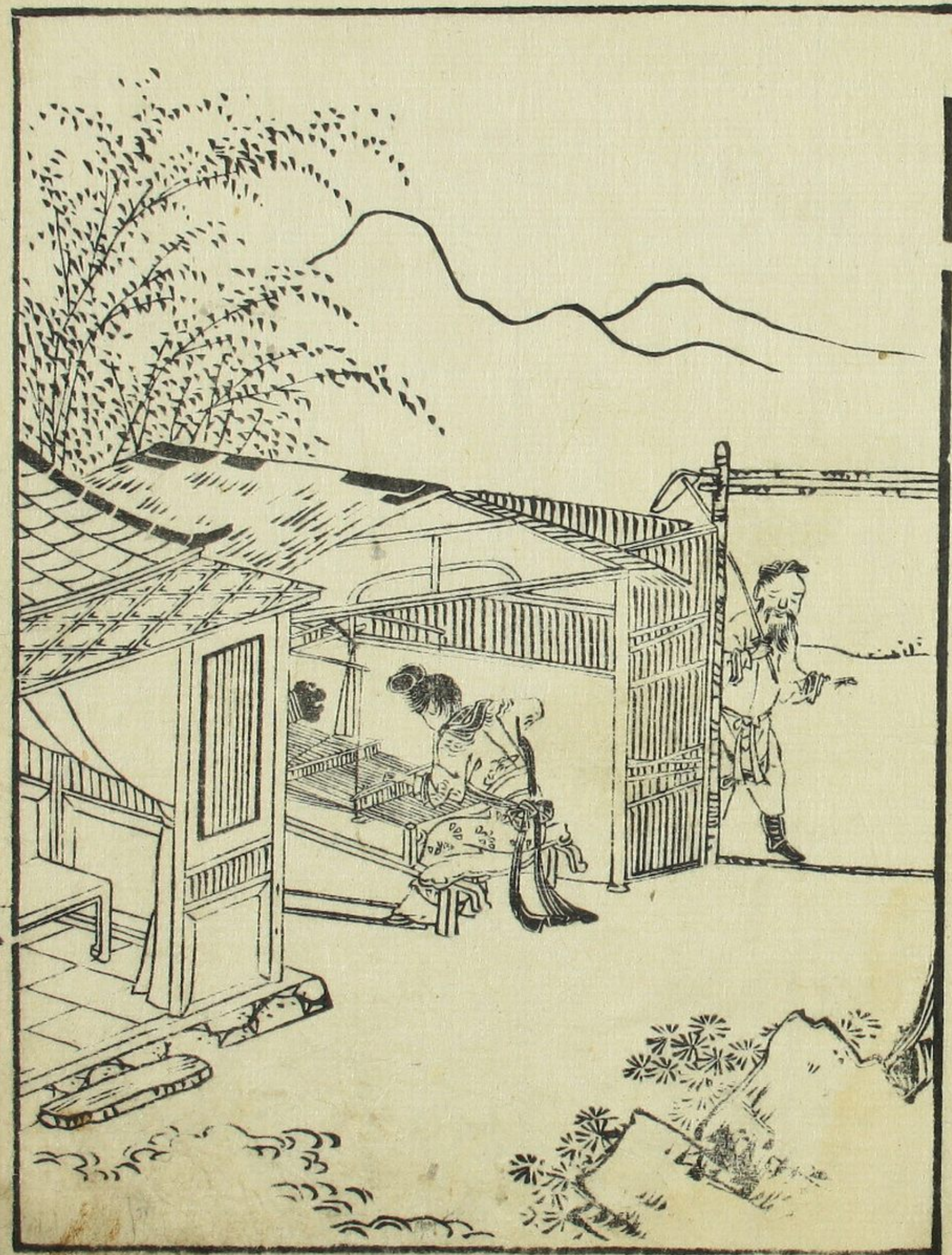
仲由 爲親負采

仲由字子路。泗水の人。其性勇敢。のむ。孔門十哲の一人也。
 家貧。一として。常々藜藿を食す。人よやと。百里凡は百里の十里餘の道をこころ。采負ひて。身は苦しめ。其賃をとりて。兩親に書ひく。父母没して。後楚國にたて。大功を立て。言老の身となり。常々鼎をつねて食し。粟を積まふ。事万石に及ひ。出ると。百輛の車。たて。居ると。錦の茵を重ひ。榮耀する。うらやま。な。は。さ。ず。事。なり。志。う。ま。く。し。こ。ろ。を。身。に。さ。び。と。せ。ぞ。猶。昔。乃。こ。こ。慕。藜。藿。味。い。わ。つ。れ。任。負。採。身。成。方。一。つ。父。母。没。し。て。な。り。た。く。思。へ。も。是。の。こ。ん。ふ。ら。る。は。と。常。々。涙。流。し。て。な。げ。さ。さ。り。孔。子。こ。こ。を。聞。は。て。け。し。こ。こ。を。う。ら。や。ま。し。死。せ。し。は。し。て。思。と。そ。と。も。の。也。稱。美。し。け。り。



董永 賣身葬父

後漢の董永字延年、母死、常人より備きて、父を奉り奉事。孝心の殊を以て、父死して、墓むつと便なく、て日此備く主人に家より、十貫文を貸て、身を賣り、永くその家の奴僕となさんと約束し、終つて其禮を完。主人の家より還んとする路次にて、美しい女と遇り、女路を乞けり。縁三百匹を織たると、後ゆえんといふ。女三百匹の多きを、僅一月の中、畢せり。主人は世なく、放し、くれは夫婦を連て、げめ遇り、地にて、董永と對ひ、我ハ天帝の織女なり。君が至孝を天帝感し、終りて、我を命じ、債代償せ給ふと。語に、雲に乗、虚空に凌て、おき去り。



剡子 鹿乳奉親

剡子ハ其名字時代を詳よせども相傳て孝行此名を稱せり。父母老て眼を患くまらば剡子かたりて醫酒瘡を
 尽くると鹿の乳汁を用き愈べしとて一々鹿を射し乳を
 得ん事成おそしむ。鹿を殺して乳の出る事あらずと
 身は麻皮を剥り麻の群をとり申すやうにて乳汁を
 うかひ取ると獵人安の麻とおまひる近く来りて
 射とらんとして。剡子声をあげて志すのしと
 速くながきわびくまらばおしけき獵人もさうは孝心成
 感し。弓箭をふせて通うくるとなんかくをさうあ
 やすき事をなせり。親をおもふ孝子此志成天の恩
 となりて。必死の鏃を免せしめ強くなりたり



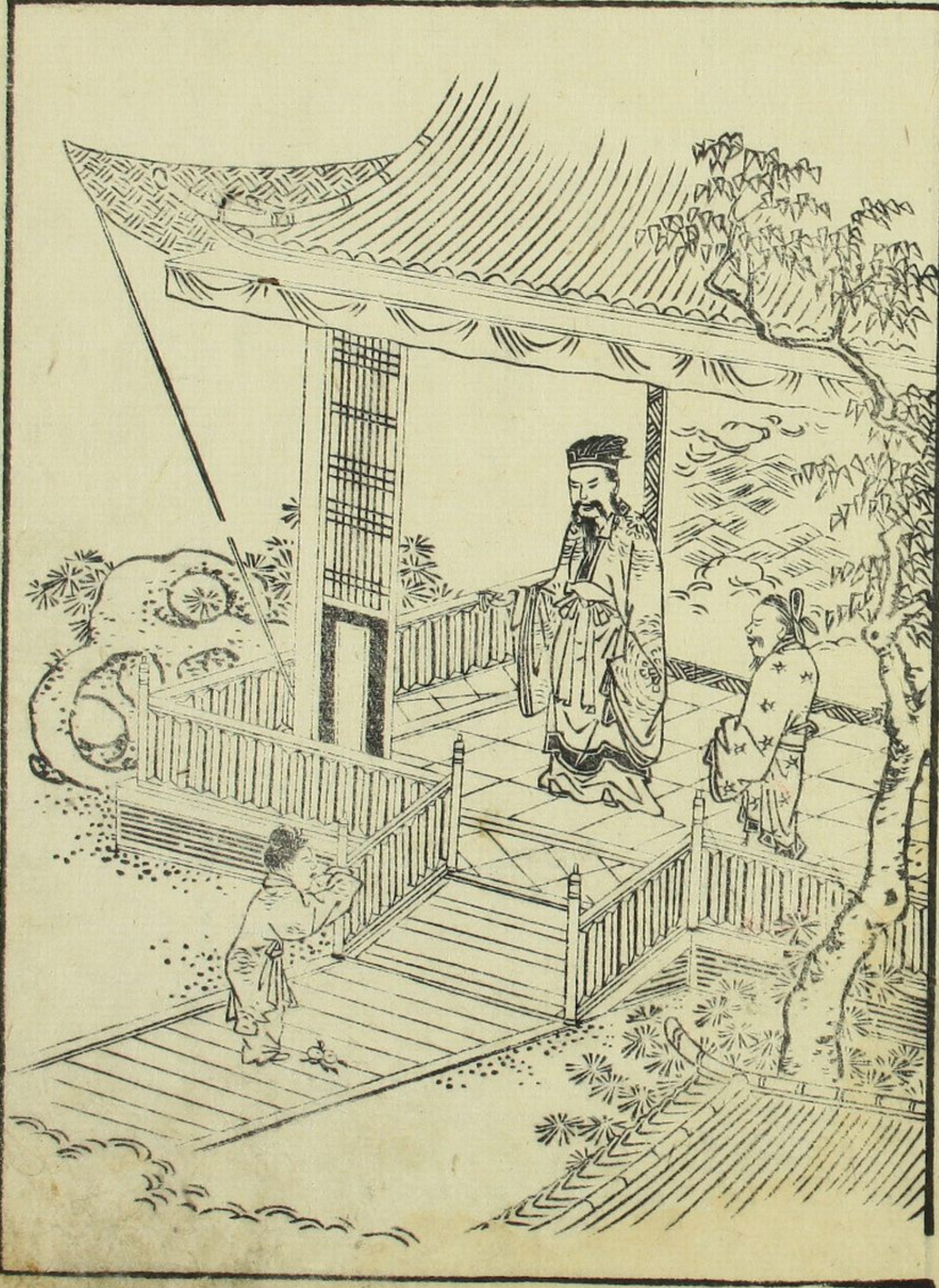
江革 行備供母

後漢の江革字次翁。魯國臨淄の人なり。幼して父を
 おく。母は之を孝行の聞えあり。其比天下乱れ。其
 母を背に負ひ道を通り。艱難を経る。やうく一柵を
 とめたり。はひし身は裸。足は踏。くく人。備を其貨を
 して。母をやしなひ。なごめたり。世をさうて。故郷へ
 かつらる。車はかりてのせ。牛馬を。おとん。こ
 ろん事。は。身。轆の中へ入て。引る。な
 ど。とて。公を用る事。けた。ひ。う。う。て。そ。江。巨。孝。と。名
 付て。こ。紙。稱。歎。し。く。巨。孝。と。大。なる。孝。子。と。事。也。
 かく。其。名。世。あ。る。は。く。く。朝。廷。へ。め。され。高。友。成。お
 し。初。末。め。た。く。終。れ。く。



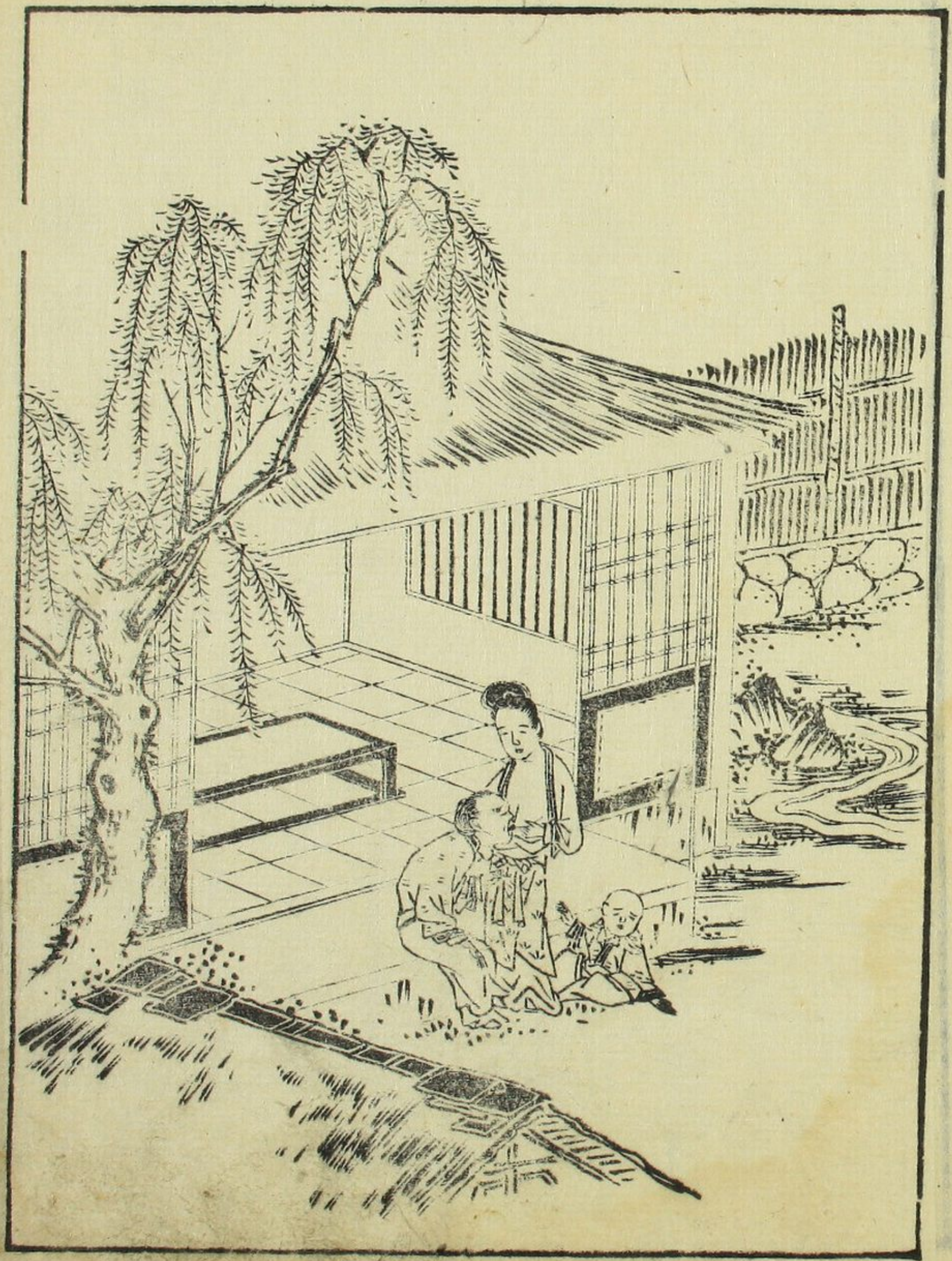
陸績 懐搦遺母

陸績字公紀三國の時呉に孫權より一人なり。博學多
 識。六歳の時九江郡
 とつ所なる表術とて當時威勢あるもの方へ召さる。搦試出
 して三枚の棗を懐に納めしむ。帰る時侯と
 め礼拜とて地におもむ。表術を告げては方へ賓客とな
 りて。いさかく尾就の事とをりて。いさかく陸績
 跪て児が為に出し給ふ珍果をむげし。けん事をし。持
 加。母にたるとんとなして。いさかく。をやうし。いさかく。表
 術をけし。いさかく。幼きもの。孝を含んで。其のこころを
 述。且長者の對するの礼を知て。跪さる。其孝悌は天性
 る事。其感。いさかく。千載の後。其孝悌は。いさかく。施し



唐夫人乳姑不怠

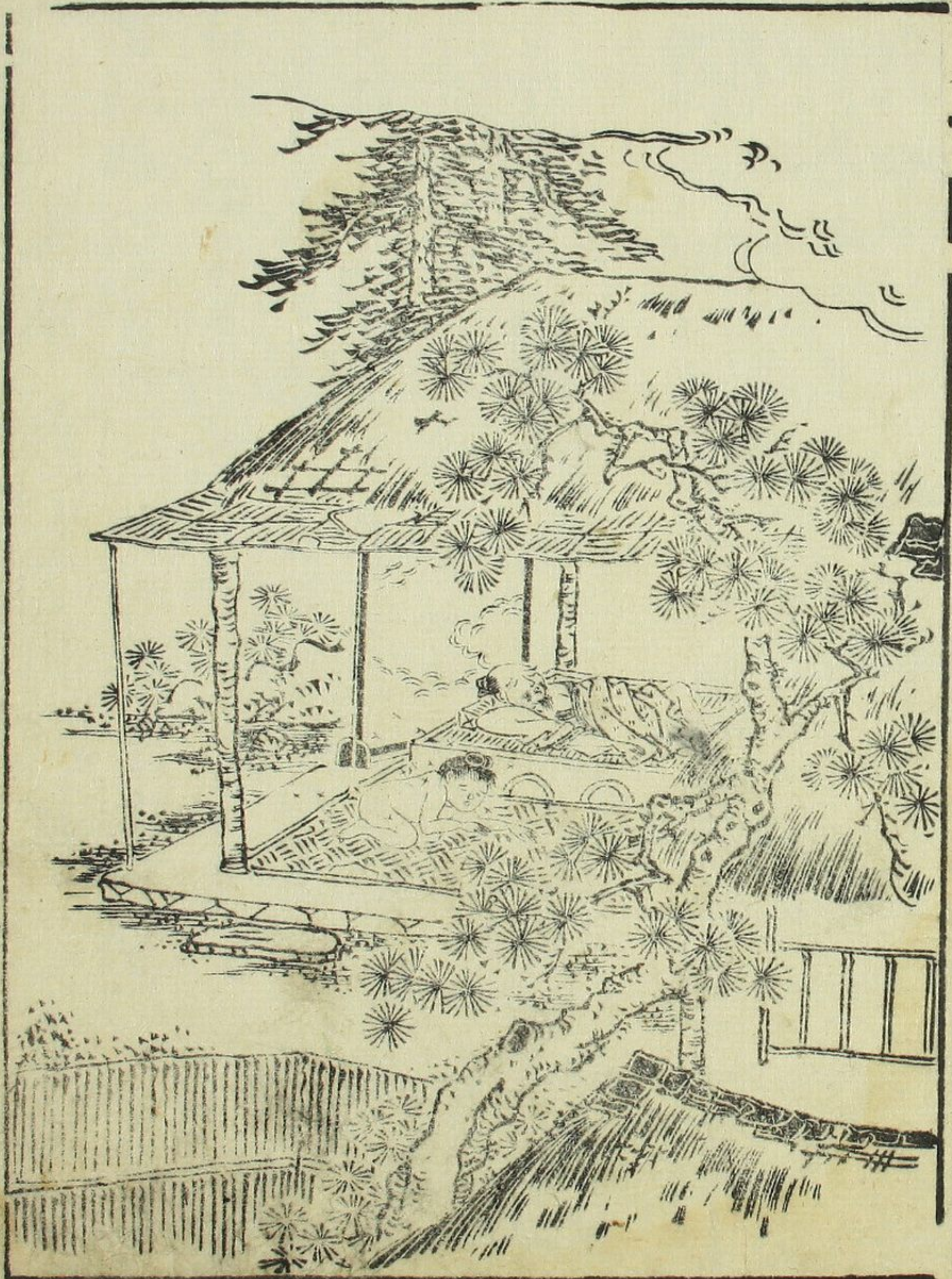
唐夫人ハ唐の博陵なる崔南とつゝ人の妻なり。姑の長
孫夫人に於て孝を尽せり。姑年老齒なく。食事のま
なすらり。朝夕乳をふとめてを食ふ。其のいふまよ
る。無病して壽をたるとれり。後長孫夫人之病を
これに孫諸侯をありて。我かく天壽を乞ふ。して
純をやとく。事。偏に夫人の多生の供養をうたふ。こ
よよれり。只此恩を報して。今般の及ぶを憐れむ。の
こと。感涙を流し。唐夫人をお慰し。預くは子孫のまか
け夫人の孝を學び。終つて。ゆるむを乞ふ。事。かき。と。ま
言し。さきこれに終らざる事。なん。い。つ。婦。姑。幼
賢として中あ。さ。な。う。ハ。な。ま。う。か。膝。を。八。千。載。れ。美。徳。な。る。や





吳猛 恣蚊飽血

吳猛ハいげきの時れ人とり事成詳せむハ歳うて孝行
の名世ニ高し其家もやよろ貧く夏れは蚊帳をたす事
だよさけまば父母の蚊よなやみ給らん事成のなり之夜成
脱て父母よませまわらせ赤裸なうかひやうげくまり
通夜はれ中よて唱へ云々ハ虫教りりとも公あハ父母と
唾事成ゆるせよかハ父母ハ年老て血氣うまく我ハやうく
うち休かんまもバあくやうて家成くらあべうてちひまき
のほふもろしぬやぞ群もまも身成うごかりてハ父母れ方
初ん我思まけいしやうと故よあふくわびハ歳うてかよ
で心を用事わうがくあまなうく今ハ侍をよみは
後をえく後を流るはよのハ其人必と不孝れ老なうし



宋壽昌 棄官尋母

宋朱壽昌七歳の比父新よ美女を娶て壽昌が母去
 ける。それより母をんごう年経るがかりにさげさて。一日もわを
 きごう々々。あうきども父又後母よ侍りて。孝道成る。父存
 生のうらハ一旦離別し終へ母なきバ父への無礼後母への
 ちかりぢおそひ公の中よの之深く慕ひて。いつりも色よ出
 きご。五十年経て官禄をさて。天よ誓え憫く。我若母
 のながく在りて。さなきうごバ再びあより。母よ交るべ
 か。ゆして。行方をさしめり。からうとてたつひささう。
 け時母の齡七十を略れ。探壽をたもちてめぐり。さ
 々々事。孝公のまめたるが故。さうごや。遂に朝廷よ入て。
 顯官厚禄を賜りし。なん。実よ神宗皇帝。熙寧中。此事也。



王祥 臥冰求鯉

晋の王祥字ハ休徵天性至孝の人なり。継母不慈なまじし。恨
 とせし。愈恭謹せり。父母疾あり時ハ晝夜側ありて帯を解
 湯を系をも先嘗味りて飲ばせり。寒天の比母の生
 魚を食ふといふ。水凍りて魚を取らば使なけむ。其望
 を遂げん事成さげ。池は臨みて魚を求人衣を脱て氷
 の上は卧し。身れ温まりて氷は割んとん。其志の篤と感應し。氷
 一もろに化ゆる。厚氷忽ち解て。双鯉躍出る。母又黄雀
 の炙をおく。人事を欲ハ黄雀數十死入る
 など。其孝感の致と和を郷里に。親友聞て歎美せり。又
 庭前は柰ありて丹く実き。母を以てこれを守り。風雨
 発る時ハ樹を抱て泣く。其孝徳天下に。公に至る



郭巨 爲母埋兒

後漢の郭巨字ハ文舉。おむとれハ老母を養ふ。その食乃
不足なりハ事ヲ悲む。一子あり。己ハ三歳老母を養ふ。食乃
我食の中を分ちあふ。郭巨いふ。母の食れ乏し。かんと
養ふ。妻ハ語く。いふ。ハ我身かく養ふ。母ハ供養せ
事ハの中を分ちあふ。母の孫を養ふ。分ちあふ。孫ハ我に
くづくおそふ。主婦の孫を養ふ。母ハ再び
べし。我子孫を殺して。母を養ふ。孫ハ我に
いふ。おそふ。孝子ハ妻ハ泣く。言ふ。は
らハ一思ひハ埋殺さん。坑ヲ掘る事。二尺。黄金
一釜。釜ハ金の兩數。を掘る。上ハ文字あり。曰。天賜孝子郭
巨。此より家ハ名顯きて。孝道を尊く。善愛成全くせり



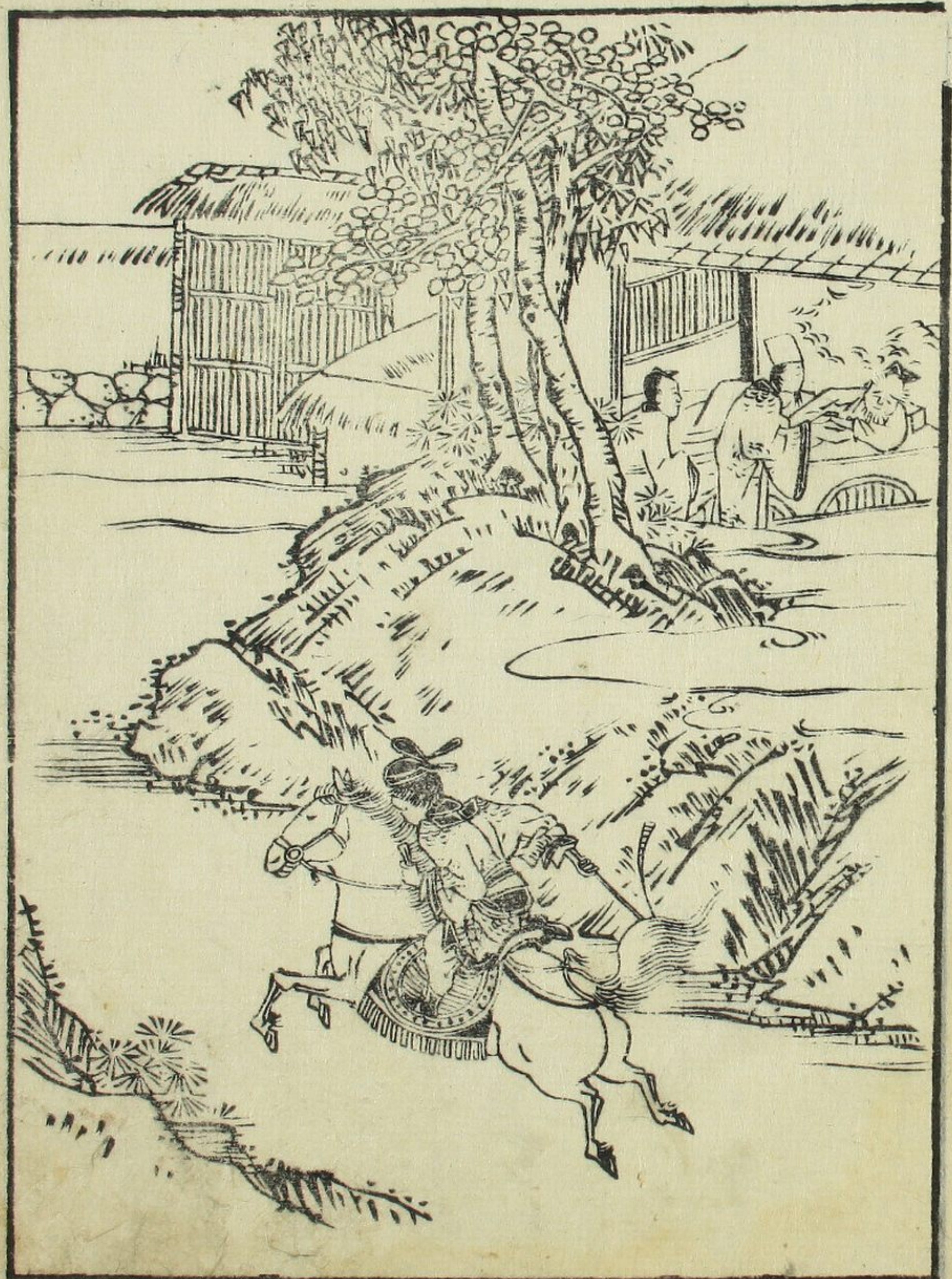
揚香 檻虎救父

揚香ハ魯國にて揚豊といふ所のむすめなり幼少なり
 深し父はけりて志をくとも難き波或時父を奪ふひて山に
 入て薪を採らる大なる虎来りて父を食んとす父刀を以て
 拵むるに防ふに便なくたゞあがらざるにたさけよと叫び
 たり時揚香年十五なり父の命を以て闘ふにかけ
 来りりしもおそむるに虎はむらひ涙をながし我を害して父
 を助けられよと猛く怒る虎の首筋を以て斫るに付
 けりハ虎敢て食んとせむかいつとおそれあはれをなち所
 くるに其所の太守孟肇之とよみは事を以て大に
 稱歎し揚香は采をわく其名をあはれくすは孝子の
 の志ハ猛と獸と敵と事いふに父の擁護し給ふなり



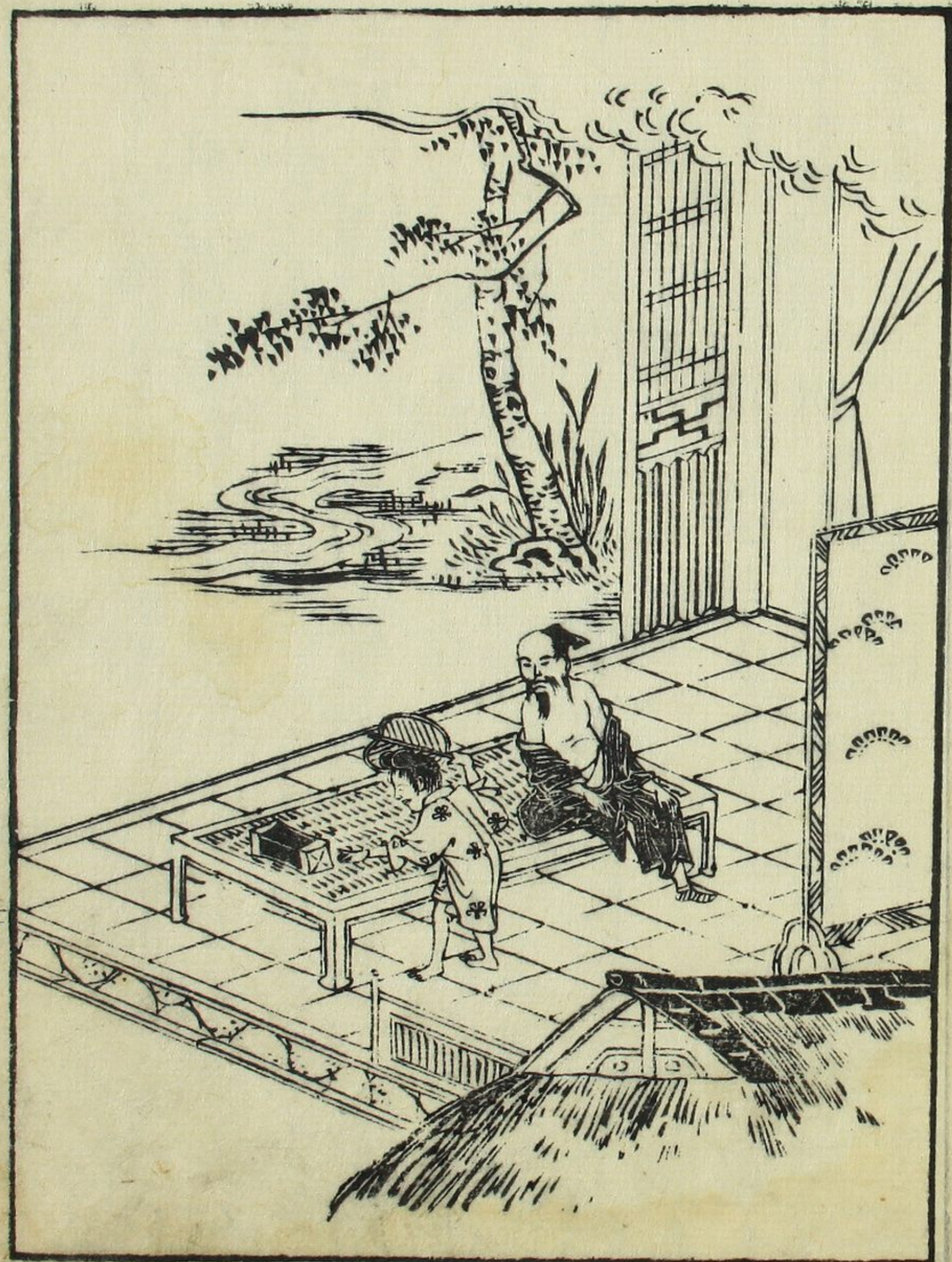
度一黔一婁 嘗一糞一憂一心

度黔婁、南齊の時れ人なり。出て、扇陵と云ふ所の令、ま
 きり。いやく十日と居りて、忽ちむなむとて、まきり
 て、身より汗出たれば、さききと事、よわく、故郷の父れ、
 一臥死ふたぐと、即日官死棄て、昼夜をわす、急
 病り、果して父を、と疫痢、親族集て看、猶せう。
 其黔婁、うぬ事、れ甚、い、つ、怪む。黔婁、其、一、
 父の病、重く、命の危、かん事、死、う、た、り、て、医、其、生死、を
 問、よ、さ、ん、死、知、らん、と、思、を、糞、嘗、て、味、苦、く、一、念、へ、く、甘、ま、
 念、へ、く、甘、ま、と、い、つ、よ、即、ち、死、ら、む、む、る、甘、か、く、れ、ハ、
 心を苦、し、め、夜、く、小、辰、に、祈、り、て、こ、け、身、死、以、て、代、ら、ん、と、願、
 る、よ、う、と、也、死、の、病、も、漸、愈、く、こ、も、恙、な、ら、ず、一、人



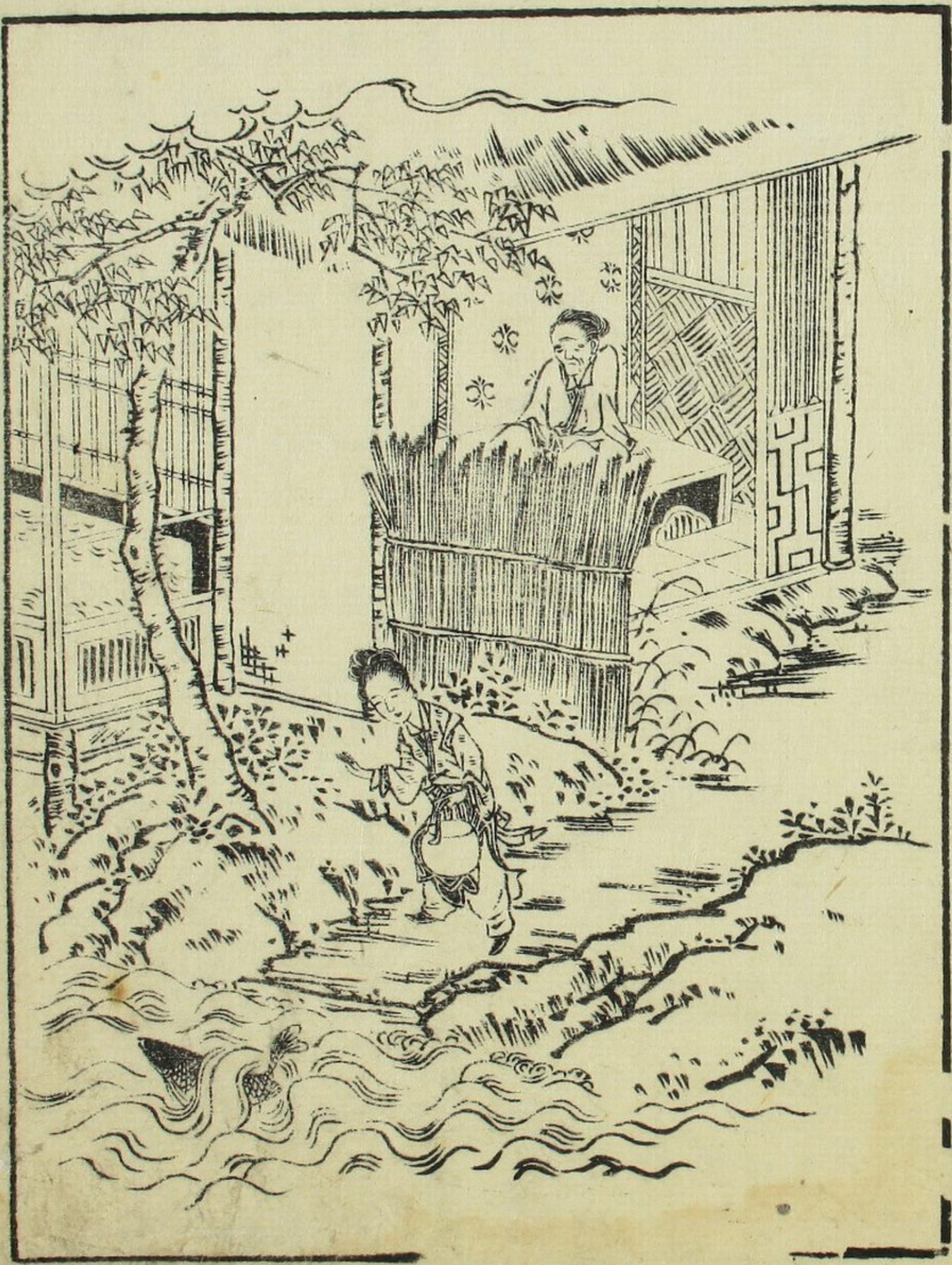
黄香 扇枕温衾

後漢^{後漢}北^北黄香^{黄香}字^字文强^{文强}。八^八文强^{文强}ハ^ハ文强^{文强}ハ^ハ經典^{經典}を^を学^学び^び道術^{道術}を^を究^究め^め。文章^{文章}と
 能^能く^くを^を吟^吟く^く。其^其名^名高^高し^し。九^九歳^歳の^の時^時母^母を^を失^失ひ^ひ。其^其悲^悲こ^こも^も。や
 せ^せお^おと^とろ^ろへ^へ命^命を^を危^危か^かし^し。素^素衣^衣を^を着^着て^て。婢^婢僕^僕な^なく^く。色^色巴^巴
 父^父は^は泣^泣いて^て。躬^躬ら^ら力^力を^を竭^竭す^す。夏^夏の^の暑^暑さ^さに^には^はぐ^ぐな^な床^床を^を扇^扇
 ぐ^ぐ。枕^枕を^を涼^涼く^く。冬^冬の^の寒^寒さ^さに^には^はお^おの^のひ^ひや^やあ^あな^なん^ん事^事を^を
 お^おも^もひ^ひ。身^身を^を凍^凍む^む。床^床の^のひ^ひや^やあ^あな^なん^ん事^事を^をお^おも^もひ^ひ。父^父を^を泣^泣か^かせ^せし^し。母^母を^を
 る^るを^を泣^泣か^かせ^せし^し。侍^侍養^養を^をす^す。其^其名^名世^世に^にか^から^らる^る。朝^朝廷^廷に^に
 召^召して^て。尚^尚書^書令^令魏^魏郡^郡太^太守^守と^とな^なり^り。子^子の^の黄^黄瓊^瓊其^其子^子孫^孫を^を高^高
 官^官に^に昇^昇進^進せ^せり^り。禮^禮記^記に^に為^為人^人子^子之^之禮^禮冬^冬温^温而^而夏^夏清^清昏^昏定^定
 而^而晨^晨省^省矣^矣と^とい^いふ^ふ。孝^孝子^子に^に勤^勤む^む。黄^黄香^香れ^れぬ^ぬ。是^是也^也



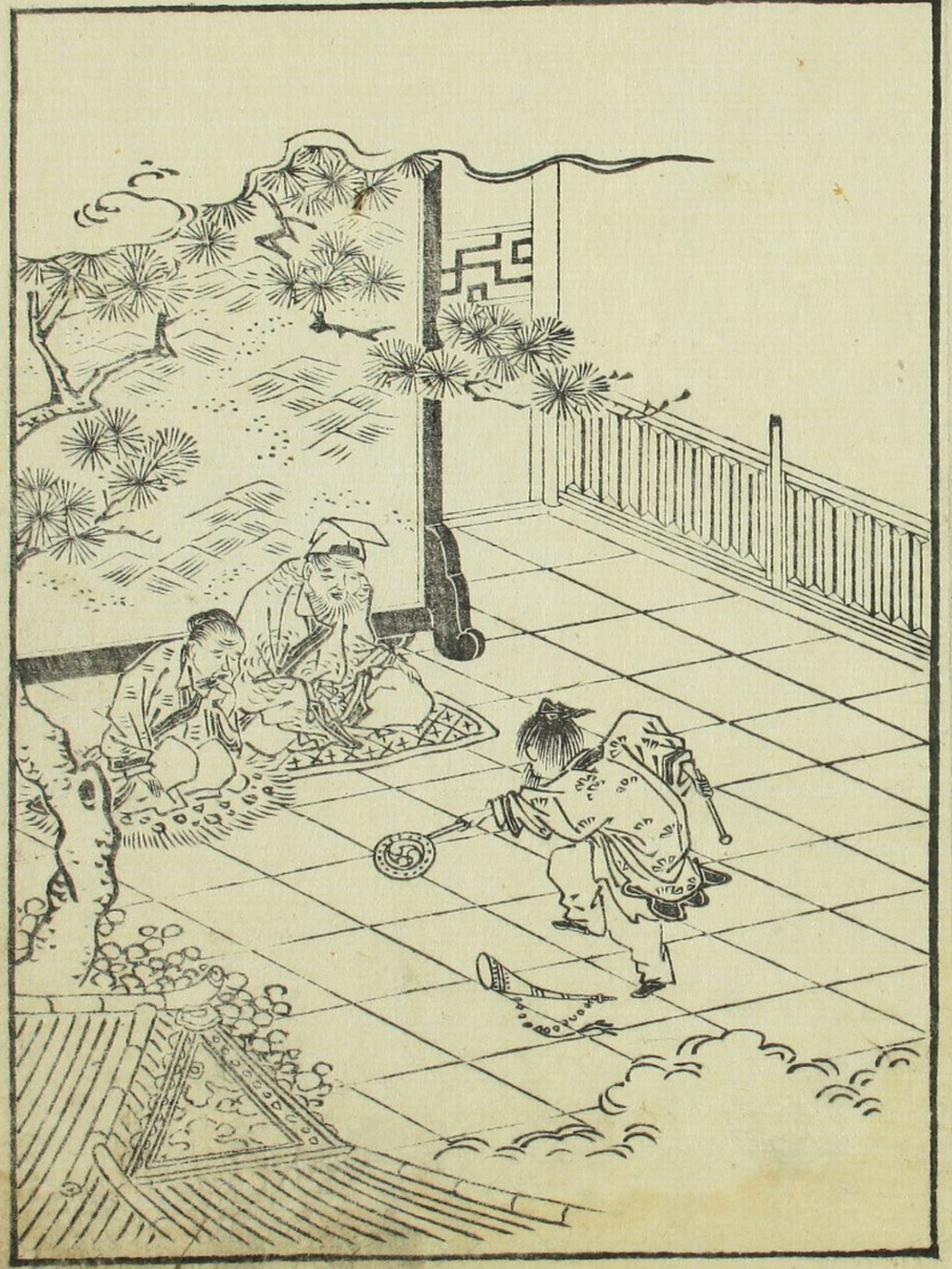
姜詩 湧泉躍鯉

後漢の姜詩は母に孝して至孝なり。其妻龐氏も亦姑の
 意に順ひ命に逆らふ事なく。母井の水をこらひ江の水をのむ
 事致ぬ。姜詩が家近く清江なるとより。龐氏曰くこらひ
 よ。水は清濁を汲らるる。或曰く風をげりて清く
 するは姑の怒りのまらるる。姜詩其怒り体
 めんがらぬ。妻を遣出しらる。龐氏こらひ恨こせり。父母が
 こらひて。隣家の老婦をたのみて。盆に紡績を事し。姑
 のぬめりその残瀝へ老婦を托して。盆におく。後ハハハハ
 こらひを知りて。我短氣を悔て。よびて。とて。又母生魚の脍と
 このこらひ。常と瀝して。まめらる。後舎れ側は清泉湧て。其味
 江水に異なり。くは水より。毎日双鯉出て。供養の勞と助く。也



老萊子 戲綵娛親

老萊子ハ周の代楚國の人ナリ。女ニ時ヨリ。孝ヲ慕フ。
 父母をヤリ。甘脆トモ味ヒテ。老テ齒ナクモ。
 食セテ。其身已ニ七十ニ至リ。父
 母存命ナリ。我老衰を父母の前ニ。
 身レ老を。つゝ。え。て。は。た。す。思。ひ。
 縁。つ。つ。小兒の衣ヲ。お。強。く。
 して。あ。ら。う。い。ほ。ま。す。お。強。く。
 了。或。時。食。を。と。も。し。て。
 小兒の啼。真。
 篤。我。ハ。後。楚。國。乱。キ。レ。
 老萊子。其。書。ヲ。著。シ。テ。志。を。述。



評書 蔵

蔡順 拾椹供親

後漢の蔡順字ハ君仲ハ汝南の人なり。幼少して父よりなれ母
を侍へて。孝を尽せり。時王莽といふ逆臣天下をぬきし。兵
乱ちつ。飢饉一々。母の養れらる。椹を拾ひ。其器
を二つおて。実の赤いと。おろして。母を養ふ。赤眉賊
といふ盗人も。あつて。おろし。母を養ふ。事と同し。蔡順答て
曰。ハ。熱して。味甘。母の養ひ。供へ。赤。ハ。熱。せ。ゆ。え
己。食。と。ま。し。つ。その悪賊も。孝公を感して。菜汁
牛の片股。共へて。去る。其後母死。い。葬。さ。し。す。其。隣。は
よく火出。て。の。火。が。く。入。れ。ば。蔡順棺を抱。て。哭。涕。び。天
の。の。火。を。火。を。火。を。順。宅。を。救。て。他。の家。を。つ。つ。り。り
と。人。其。孝。感。の。奇。特。を。た。り。り。



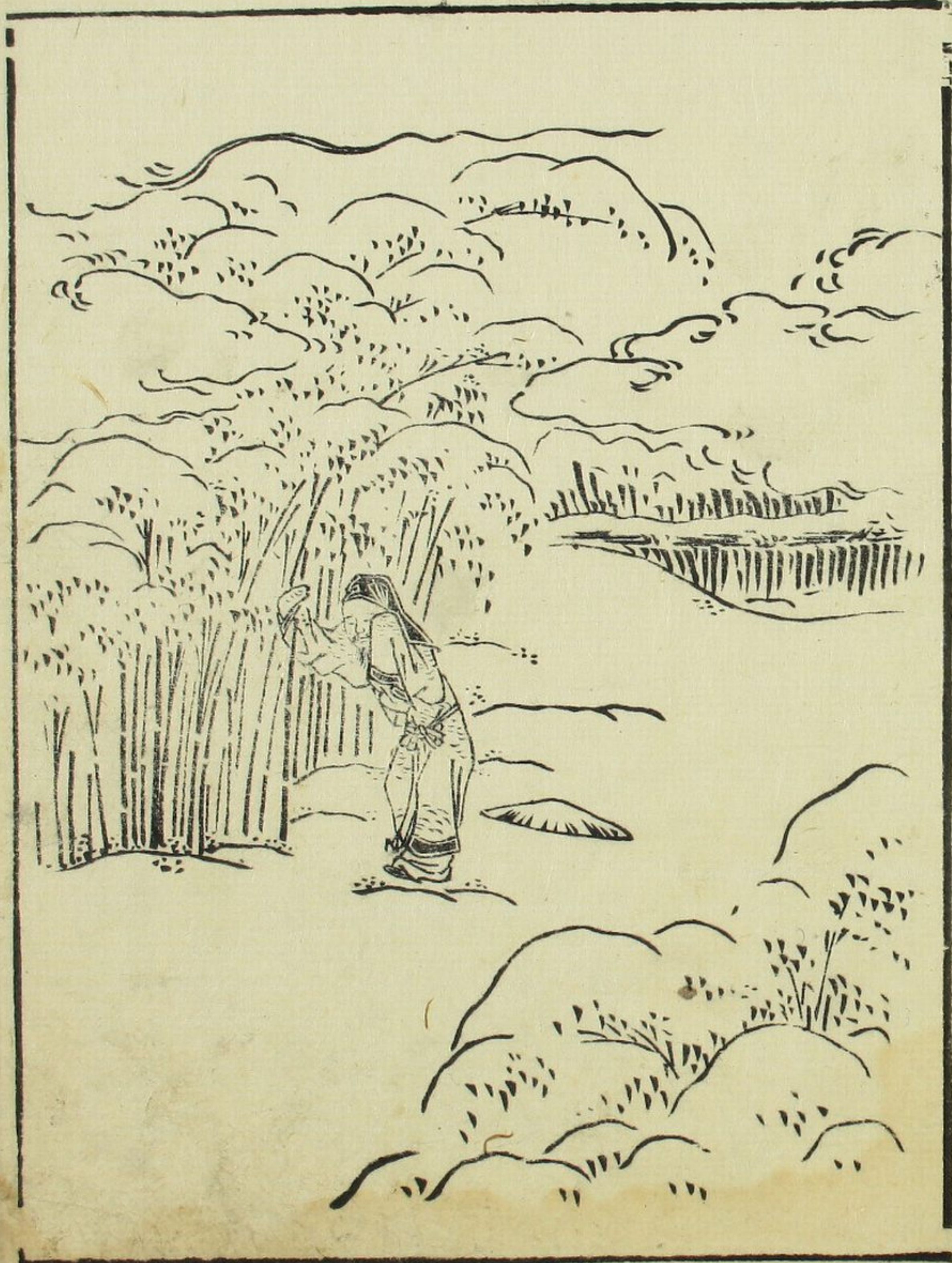
王哀 聞雷泣墓

晋の王哀字ハ偉元少き時より心は操を立博學多能なる
 人なり父王儀罪なるとして文帝ハ害せしめしむ終身西に
 向て坐せしむ文帝西に都其朝に臣たざる事と示し父母に墓
 の側は小房を造り朝夕墓前までおへ跪き信を植へ
 る柘樹を攀て父の罪ならしめて死せしむ泣悲しむ涕涙は
 て柘樹終に枯る又母存生の時甚く雷を畏るるを没
 しても雷の鳴る時ハ母をいもず輒墓前までおへ跪き
 哀を哀るるありと云て生る事なるとし其身隱居
 して経術を生徒に授る持経義篇の哀と父母生我
 劬勞といふまでと復して涙を流るるを門人皆は篇を
 除さずと人素く富貴死を躬耕して其操を守る



丁蘭 刻木祀親

漢の丁蘭ハ河内人ナリ。母ヲ喪ヒ。思慕ノ余リ
シヨリ。木ニ刻テ其カヲシテ造リ。事々トシテ
侍ラシメテ。朝夕定省ノ儀ヲ行フ。或ハ
之ヲ張叔ナリ。其ノ有テ。常ニ之ヲ嘲弄シケル。或
時丁蘭ガ有テ。つと本像ノ前ニ立テ。大ニ罵詈
を以テ。其頭をうちたり。丁蘭カアテ。いつもの如く。本像と
拜シ。其面より色あり。妻亦其事ヲ告ぐ。夫
バ丁蘭大ニ怒リ。張叔ヲ打擲シテ。傷ミ。友人來リ。カ
メトシ。獄ニ下さんと。丁蘭本像ニ別告を告ぐ。本像涙を
流シ。官人あられと思ひ。言上し。けり。孝心乃
誠神明ニ通リ。其感あり。其罪をゆる。終ひたり



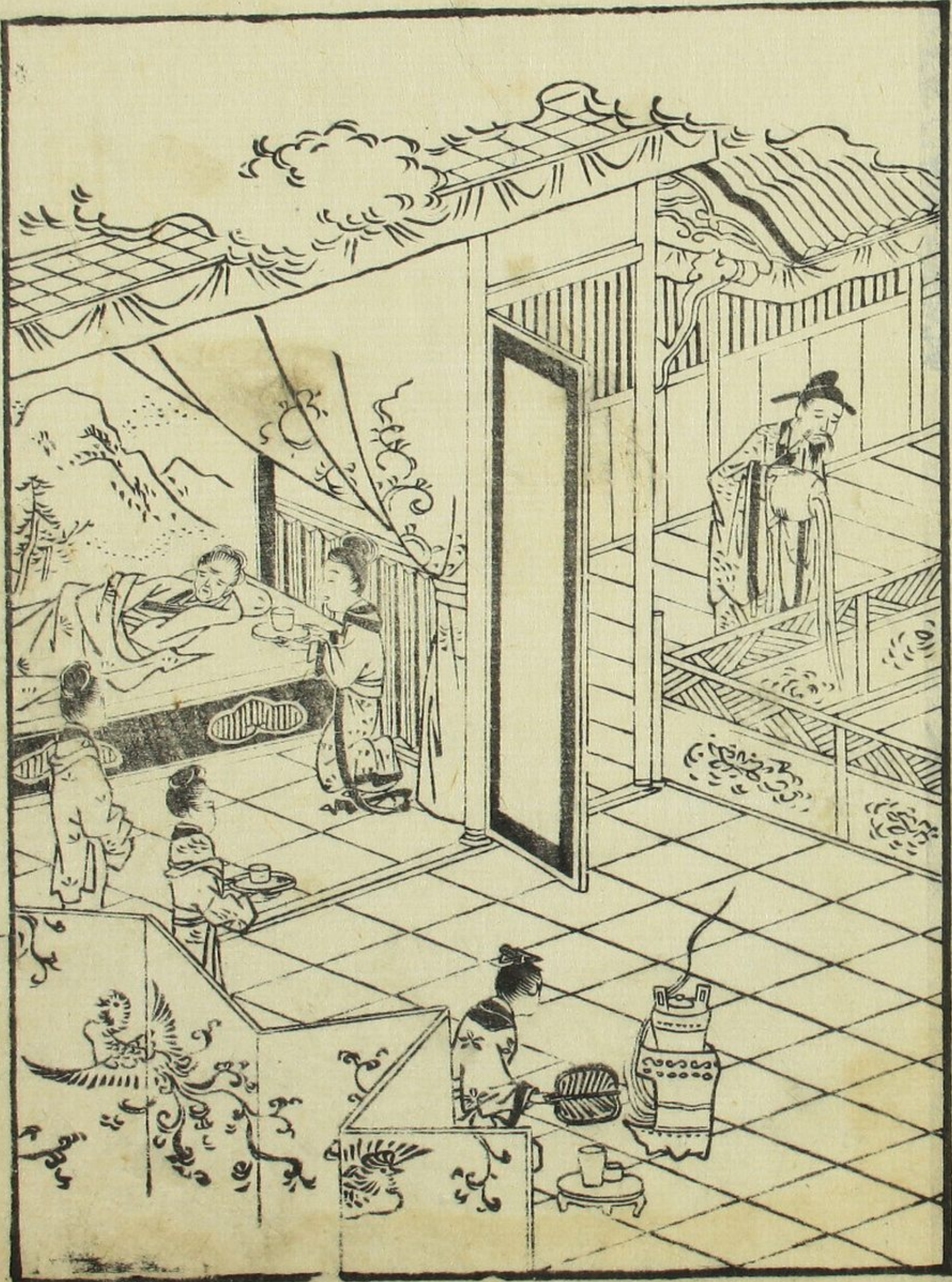
黄庭堅 條親溺器

宋の黄庭堅字魯直自ら山谷道人と號を幼して警悟博學として文章をよくし。在詩は長せり。東坡の門を遊ふといへども其名を等しくして。猶黄と稱せられ天下に文宗たり。朝まはつて官高く家富む。親は老を至せり。母病は臥床ふ時、其看病をほめり。幸最も篤く。昼夜かたろく侍りて。衣帯を解りて。茶を煎し。食はせり。むねよう。大小便をとらて。ほこ水を汲其器。或は溺ふたも、その器にせり。其器を以て其孝公の程をおそふべし。まやうあましく、れは、は、い、も、富貴れ身よりて。其勞を厭む事。何うか。志なきすや。學問して。道を究むる人。なると。は、い、も、か、り。



孟宗 泣竹生笋

吳の孟仁宗の名は字は恭武江夏れ人なる。少して學成つとあ
 孫皓よはつて司空となす。吳滅て晋に降じ監池司馬
 とて池奉行となす。母は推還していと。其奉終守
 母よおろろく母うけむ。他人の官れ魚を盗取らざり。疑
 る所の魚を捕我よおろろく事。他人の官れ魚を盗取らざり。疑
 るを生むべし。其後其猶も居る間か。母を食さず事。其
 らよといやしめり。賢母といふべし。母を食さず事。其
 ぬこころの病は熱よおろろく。是れ竹の中
 るまで孟宗孝心に泣き人なををく并林を求る雪よ立。天は祈て
 泣くこと一ひ包笋雪はぬいて生く。表は握りく。
 湘一とあふれ。これ先症と即愈くとなん



悉應大師
山王七孫の和歌

用くくとうら世のゆををくくは
ましうらうことまのるりたり
見きうせいでいりるるのものを
うらまゆ中ままうれうらうい
ついでちくくはまのるりたり
まのるりたりとゆめとんうら
何のまのるりたりとげふひのや
足さるふまのるりたり
まのるりたりとげふひのや
まのるりたりとげふひのや
まのるりたりとげふひのや
まのるりたりとげふひのや
まのるりたりとげふひのや

右大炊内門御多後画製



大坂書林鹿島献可堂藏版目錄

始原忠志書

七支子詩集 小本 一冊

發蒙書東式 三冊

同掌故 三冊

傷寒五法 五冊

愚問賢注 一冊

同國字解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

詩法授幼抄 小本 一冊

同註解 二冊

三界一心記 一冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同註解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同國字解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同七律解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

詩法授幼抄 小本 一冊

同註解 二冊

三界一心記 一冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同註解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同國字解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同七律解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

詩法授幼抄 小本 一冊

同註解 二冊

三界一心記 一冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同註解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同國字解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

同七律解 二冊

同七律解 二冊

町見辨 五冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

詩法授幼抄 小本 一冊

同註解 二冊

三界一心記 一冊

同六窓抄 二冊

同盆石圖式 二冊

和歌桐火桶 二冊

新元流み 一冊

古今和歌集の解 二冊

同拾遺 二冊

其角報快集 二冊

同元元集 一冊

同元元集 一冊

負徳の抄 一冊

日 家集 五冊

傾門日流白 一冊

芭蕉及古文 二冊

津六 雅文清集 一冊

半化流霞白集 二冊

撰良七初集 一冊

月 七 初集 一冊

俳借小づち 一冊

同小舟 一冊

芭蕉袖巻紙 一冊

同四季歌 一冊

同小舟 一冊

同小舟 一冊

同小舟 一冊

同小舟 一冊

同小舟 一冊

同小舟 一冊

同小舟 一冊

同小舟 一冊

歌水葵白集 一冊

蘇村葵白集 一冊

柳三白集 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

同四季歌 一冊

御清八重垣 小治園水書

釋迦如來一代記 今般八冊

三教經書 四冊

三聖利益傳 五冊

漁翁居平同卷 一冊

多詳同卷 一冊

日 俸 二冊

經書の海 俸 三冊

唐詩帖 唐詩書

古詩帖 古詩書

扱の記 鳥居書 一冊

國字帖 田書 一冊

熟字府 大山書 二冊

和歌初稿 清輔の此二冊

和歌初稿 清輔の此二冊

和歌初稿 清輔の此二冊

和歌初稿 清輔の此二冊

和歌初稿 清輔の此二冊

和歌初稿 清輔の此二冊

和歌初稿 清輔の此二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊

和漢朗詠集 鳥居書 二冊



